

研究論文

高年次学生合宿研修(正課外授業)による キャリア形成支援教育の効果と可能性についての実践的研究

大石美佳¹⁾ 松尾敬志²⁾ 野間隆文³⁾ 歯学部学生委員会

¹⁾ 徳島大学病院総合歯科診療部

²⁾ 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部歯科保存学分野

³⁾ 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部分子医化学分野

要約:平成18年度と19年度に、歯学部4年生に対して1泊2日の合宿研修を正課外授業として実施した。本事業は、コミュニケーション能力の開発を通じてより良き医療人を育成することが目的である。合宿研修場所は徳島県内の海洋センターであった。リラックスした雰囲気の中で海洋プログラムからスタートし、次いで、コミュニケーションに対する導入的なゲームや講演、そしてワークショップにより自分たち自身で問題点を抽出し、さらに解決するための討論を行い、その結果をプレゼンテーションをするという内容であった。平成19年度の2回目には、医学部と薬学部の協力を得て、実施テーマとして「コミュニケーション能力の育成」に「医療専門職としてのキャリア形成支援」という新たなテーマを加え、チーム医療の定義や実践を学ぶ機会を設けて実施した。従来の正課授業と異なった教育方法の可能性について成果を基に検証し、今後のキャリア形成支援教育への応用の可能性について考察した。

(キーワード:大学教育、合宿研修、コミュニケーション能力、キャリア形成支援)

Practical study on the effects and possibility of university education
supporting career formation by camp training of senior students

Mika Oishi¹⁾, Takashi Matsuo²⁾, Takafumi Noma³⁾
Committee of Student Affairs, Faculty of Dentistry

¹⁾ Department of Oral Care and Clinical Education, Tokushima University hospital

²⁾ Department of Conservative Dentistry, IHBS, The University of Tokushima

³⁾ Department of Molecular Biology, IHBS, The University of Tokushima

Abstract: Two days training camp for the fourth year students of dental school was executed in 2006 and 2007. The purpose of this program is to develop good practical dental doctors through the promotion of communication skills. The training camp was held at the YMCA oceanic center in Anan city of Tokushima Prefecture. It began with an oceanic program under relaxed atmosphere, and then, the programs containing games, lectures, and workshops related to communication skills were carried out. The theme "support for career formation as a medical profession" was added to "promotion of communication skills" in 2007, and then the skills to learn the definition and the practice of the medical team treatment were installed and executed.

The usefulness of methodology different from the regular course class was verified based on the results, and the possibility of the application in the future curriculum for the career formation was discussed in the paper.

(key word: university education, training camp, communication skills, career formation)

1. はじめに

平成17年3月に発行された第22回徳島大学学生生活実態調査報告書(キャンパスライフ)において、歯学部4年次以降の高年次学生には、歯学部3年次以前の学生や他学部の学生と比較して「やる気が起こらない」「目的がない」「何となく不安」などの割合が4、5、6年生と学年があがるとともに増大していく傾向が見られた。歯学部の4年生は、専門教育課程のうち、

基礎歯科医学講義をほぼ修了し、歯科臨床の講義と実習が始まる学年である。この時期からのカリキュラムでは、歯科医師養成という専門医職業学校としての内容が濃くなり、日々の講義、実習に出席してこそ、専門職としての全体像を理解できるシステムとなっている。したがって、4年次以降は、大学生として自主性を尊重するという学問の学び方ではなく、決められた学習計画に従って毎日のスケジュールが進んでいく学習

過程であるため、ややもすればやる気と目的意識が無意識のうちに失われ、低下している状況であるように考えられた。

一方、近年医療従事者は患者の心理に配慮し、共感できる態度を持つ事が求められるようになった。歯学部5年次になると本格的に臨床実習が開始され、直接患者と接し、その治療において見学、介助などの立場で医療行為に関わる重要な時期を迎える。徳島大学歯学部学生委員会は平成18年度学生委員会活動計画の一つとして、社会的に倫理観の低下によるモラルハザードが叫ばれる中、医療人として確固として倫理観を堅持した歯科医師、医療従事者を育成することを目標に、先の学生生活実態調査結果に見られた中だるみ傾向の4年生を対象に、学生が自分自身の多様な能力を自覚し、その能力を発揮する「場」を提供する事で、その学生の可能性を引き出す事を支援する教育や、将来の夢を大きく育てる支援教育を行うことを検討した。その議論の結果、従来の教育課程の枠組みを越えて、つまり日常性から脱出して学生自身によってその能力を再認識すること、自らの手で目標に到達する体験をすること、またその「場」をもうけること、さらに、一個人ではなく、グループでも達成感を共有できるような意図で1泊2日の合宿研修を正課外授業として企画した。学生たちに「夢」を与えよう。日常とは、かけ離れた「夢」のような?時間を過ごそう。ということで、この企画を「夢企画」と名付けた。具体的には、この合宿研修を、徳島県内の海洋センターで行い、リラックスしたブレインストーミング的な位置づけの海洋プログラムからスタートし、次いで、コミュニケーションに対する導入的なゲームや教育講演、そしてワークショップにより自分たち自身で問題点を抽出し、さらに解決するための討論を行い、その結果をプレゼンテーションをするという内容とした。2回目の平成19年には、平成18年度の実施テーマである「コミュニケーション能力の育成」に加えて、歯学部だけでなく、薬学部と医学部(栄養学科)の学生と教員にも参加していただき、それぞれの「医療専門職としてのキャリア形成支援」というテーマで、チーム医療の定義や実践を学ぶ機会も設けて実施した。

2. 方法と実施

1) 実施計画案の策定：平成18年7月

徳島大学歯学部学生委員会により、「夢企画」の実施の意図を学生全員に説明し、日程や実施内容について学生と話し合った。学生からは、多くの学生が参加できるであろう前期試験休みという要望があり、9月の最終の週末に実施することにした。場所としては、身体を動かすリクリエーションやワークショップなどの活動ができ、さらに宿泊施設があり、費用も適当である場所の選定を開始した。距離や収容人数により「YMCA阿南国際海洋センター」に決定した。海洋センター職員との話し合いで季節的にカヌーやカヤックなどの海洋プログラムが可能であるということ参考に内容を決めた。この試案は平成18年9月の歯学部教授会で承認を得て、正式に歯学部正課外授業として実施することが決定された。平成19年度は、平成18年度を参考にし、4月から、学生委員を通じて医学部、薬学部にも協力依頼をしつつ、企画を策定した。なお本事業は平成19年7月の歯学部教授会で歯学部正課外授業として実施することの承認を得た。

2) 現地下見調査：平成18年8月

現地の下見調査は、学生から選出された合宿研修リーダー、副リーダーと松尾、野間両学生委員により1日をかけて実施された。「YMCA阿南国際海洋センター」の職員とセンターで行える具体的なプログラムの相談・打ち合わせを行い、さらに大学から合宿所までの必要時間、宿泊やワークショップなどを行うために施設に関する情報収集を行った。平成19年度も同様に事前の下見とYMCA阿南国際海洋センターとの打ち合わせを行った。

3) 事前の打ち合わせ内容

学生委員会において、何度かの打ち合わせを行った。その決定内容は、

①実施内容とその順番

②ワークショップなどの担当者の決定

③参加教員の決定：学生委員だけでは、指導教員としての人数に不足があるので、学生委員以外の指導者教員を決定した。実際には、学部長、前学部長、4年生の担任教員2名や若手の助教と女性教員、そして、教務係事務職員という構成であった。平成19年度は、これらに加え、医療教育開発センター、薬学部、医学部栄養学科の教員が加わった。

④学生委員と学生リーダーとの話し合いにより、学生自ら、研修中の学生企画の立案、学生のグループ分け、合宿中に必要な飲食物などの物品の購入などの準備を行なった。飲み物などは教職員へのカンパの呼びかけでも集められた。

4) 合宿研修実施日程と内容

①平成18年度

日時：平成18年9月29日(金) 30日(土)

場所：YMCA 阿南国際海洋センター

対象学生：歯学部4年生 61名

教職員 13名

計 74名

②平成19年度

日時：平成19年9月28日(金) 29日(土)

場所：YMCA 阿南国際海洋センター

対象学生：歯学部4年生 41名

薬学部学生 5名

医学部栄養学科学生 4名

教職員(薬学、栄養、開発センターを含む) 18名

計 68名

③プログラム(平成18、19年共通)

1日目

9:00 歯学部よりバスで出発

11:00 海洋センター到着

バスの駐車場から海洋センターまでは、徒歩で10分。車の乗り入れは禁止のため、ワークショップの用品、道具を教員と学生が協力して運んだ。

11:30 開所式

海洋センター職員の方による開所式。

海洋センターでの規則や施設の使用法についての説明を受ける。



12:00 昼食

海洋センターで食事は準備してくれるが配膳や食後

の食器移動は、セルフサービスのため、参加者一同でそれらを行った。



13:00

ボランティア活動

海洋プログラムで海岸や海を使用させてもらうにあたり、海岸に放置されているゴミを参加者全員で分別収集を行った(ボランティア活動)。



海洋プログラム

(カヤック カヌー 無人島探検)

海洋プログラムを行うにあたり、海洋センターの職員の方から「ライフジャケット」の装着方法や救命救急の重要性についての説明を受ける。ライフジャケットを装着して、学生、教員が交じりカヌーは3名ずつ、カヤックは8名ずつのグループになり、自分の舟を運び出す。





16:30 入浴

海洋プログラム終了後、そのまま入浴へ

18:00 夕食

19:00

ワークショップ I (平成18、19年度共通)

④コミュニケーション演習(ゲーム)

コミュニケーションの導入に使用されるゲームを3題実施した。このゲームは「アイスブレイキング」と「コミュニケーションに対する気付き」を目的とする。



⑥講演(平成19年度のみ)

i 保育所実習を通してわかった

コミュニケーション能力の必要性

(医学部教員)



医学部2年生に実施している保育所実習の実施状況、コミュニケーション力を身に付けるための一つの方法とコミュニケーション能力の重要性を講演して頂いた。

ii 海の楽しさ-海洋資源と薬学

(薬学教員)



海の美しさや可能性とともに、海洋資源を利用してアコヤガイの寄生虫であるゴカイの一種を駆除するための研究を中心に講演して頂いた。

iii チーム医療の実際-NST 現場から

(栄養学科教員)



徳島大学病院内で実際に行われている栄養指導とその中でのチーム医療を講演して頂いた。

21:00 学生が企画した花火

22:00 懇親会

その後、就寝

2日目

6:30 起床

7:15 朝の集い

海洋センター職員の指導によるセンターの
歌の合唱とラジオ体操

8:00 朝食

9:00 ワークショップ II

以下の5つのテーマから各班が1つ選びスモールグループディスカッションを行う。「KJ法」により問題点抽出を行い、プロダクトを模造紙に記載し、各班の代表者が、プレゼンテーションをし、皆で討論した。

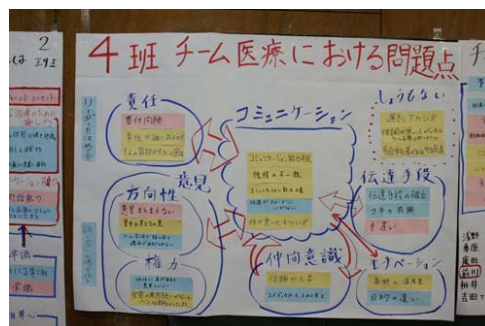


(平成18年度)

テーマ①臨床実習で何を学ぶか

- ②良い歯科医師とは
- ③儲かる歯科医とは
- ④大学におけるクラスとは
- ⑤歯科医師にとっての学位とは

プロダクト



(平成19年度)

問題点抽出 (KJ法) プレゼンテーション

テーマ①医療人として望ましい態度とは

- ②チーム医療における問題点と
その改善方法
- ③チーム医療としてのNSTの可能性
- ④QOLとは
- ⑤患者さんへの禁煙指導



11:30 修了

12:00 昼食

13:00 海洋センター出発

15:30 歯学部到着・解散

⑤アンケート

事前、事後に学生と教員にアンケートを行い、学生、教員の合宿による意識の変化や考え方についての分析を行った。

アンケート結果

①平成18年度 学生事前アンケート

1. 「コミュニケーション」とは、何か知っていますか
はい 76% いいえ 24%
2. 「コミュニケーション」について学んだことはありますか
はい 12% いいえ 88%
3. 「2」で「はい」と答えた方へ
それは、いつごろですか
中学生以前 49% 高校生 1%
大学に入学後 37% その他 13%
4. 歯科医師にとって「コミュニケーション力」は、必要だと思いますか
はい 98% いいえ 2%
5. 「コミュニケーション力」は、学習で伸びると思いますか
はい 74% いいえ 26%
6. あなたのコミュニケーション能力はどれくらいですか
大変優れている 7% 優れている 5%
ふつう 63% 劣っている 22%
大変劣っている 3%
7. 「6」で「劣っている」あるいは「大変劣っている」と答えた方へ
「コミュニケーション力」を身に付けるために努力していますか
はい 22% いいえ 78%
8. 「7」で「はい」と答えた方へ
どのような努力をしていますか
・部活動をして多くの人と交流している
・本を読む
9. 過去に他人とのコミュニケーションに関して困ったことや悩んだことがありますか
はい 45% いいえ 55%
10. 「9」で「はい」と答えた方へ
どのようなことでしたか
・自分の伝えたい事がうまく伝わらずに友達に誤解された
・言いたい事をうまく伝えられずに友達に誤解された

②平成18年度 学生事後アンケート

1. 「コミュニケーション」とは、何かわかりましたか
はい 90% いいえ 10%
2. 歯科医師にとって「コミュニケーション力」は必要だと思いますか
はい 100% いいえ 0%
3. 「コミュニケーション力」は、学習で伸びると思いますか
はい 93% いいえ 7%
4. あなたのコミュニケーション能力はどれくらいですか
大変優れている 8% 優れている 17%
ふつう 54% 劣っている 18%
大変劣っている 3%
5. 今回の「夢企画」は、コミュニケーション力を養うのにプラスになったと思いますか
はい 90% いいえ 10%
6. 「5」で「はい」と答えた方へ
どのような点がプラスになりましたか
多数意見を抜粋
ワークショップ関係
・ワークショップのディスカッション
・プレゼンテーション
・班で協力して何かを成し遂げようとする機会が持てた
コミュニケーション関係
・いろいろな物の考え方があり、受け取り方があ
ることが解った
・他人に伝えることの難しさを感じた
・コミュニケーションに関して考える機会が持
てた
その他
・親睦が深まった
・いろいろな人の意見を知ることができた
7. 「5」で「いいえ」と答えた方へ
その理由をお教え下さい
・企画で養える物ではない
・実践的でない
8. 今回の「夢企画」で、印象に残った事は何ですか
海洋プログラム



- ・カヌー
 - ・皆で走った海
- ワークショップ

- ・みんなのプレゼン能力の高さ
- ・伝言ゲーム
- ・みんなで話し合えた

リクリエーション

- ・懇親会
- ・花火

9. 今回の「夢企画」のような企画があれば、また参加したいですか

はい 74% いいえ 26%

10. その他、どのような事でも御意見をお書き下さい

- ・思っていた以上にすごく楽しめた
- ・勉強になった
- ・参加してよかった
- ・貴重な時間をありがとうございました

③平成19年度 学生事前アンケート

1. 「コミュニケーション」とは、何か知っていますか
はい 81% いいえ 19%
2. 「コミュニケーション」について学んだことはありますか
はい 26% いいえ 74%
3. 「2」で「はい」と答えた方へ
それは、いつごろですか
中学生以前 33% 高校生 17%
大学に入学後 42% その他 8%
4. 歯科医師にとって「コミュニケーション力」は、必要だと思いますか
はい 100% いいえ 0%
5. 「コミュニケーション力」は、学習で伸びると思いますか
はい 67% いいえ 33%
6. あなたのコミュニケーション能力はどれくらいですか
大変優れている 2% 優れている 16%
ふつう 65% 劣っている 12%
大変劣っている 5%

④平成19年度 学生事後アンケート

1. 「コミュニケーション」とは、何かわかりましたか
はい 95% いいえ 5%
2. 歯科医師にとって「コミュニケーション力」は、必要だと思いますか
はい 100% いいえ 0%
3. 「コミュニケーション力」は、学習で伸びると思いますか
はい 91% いいえ 9%
4. あなたのコミュニケーション能力はどれくらいですか
大変優れている 5% 優れている 14%
ふつう 62% 劣っている 14%
大変劣っている 5%
5. 今回の「夢企画」は、コミュニケーション力を養うのにプラスになったと思いますか
はい 98% いいえ 2%
6. 「5」で「はい」と答えた方へ
どのような点がプラスになりましたか
・コミュニケーション力が重要なことは解っていたがなぜか、どのようにすれば伝わりやすいかなどを改めて考える機会になったから

